

# 肺炎球菌ワクチンを知っていますか？

肺炎球菌ワクチンは、肺炎球菌がおこす重い感染症を防ぎます

「肺炎球菌」は、健康なヒトであっても鼻やのどにみられる、ごくありふれた細菌です。肺炎球菌は、鼻やのどにみられても、何ごともなく消えてしまうことが多いのですが、重い感染症をひきおこすこともあります。

肺炎球菌がおこす感染症のうち、大人では主に肺炎が問題になりますが、こどもでは肺炎のほかにも中耳炎や菌血症（血液内に肺炎球菌が入った状態）、**細菌性髄膜炎\***が問題になります。

## ※ 細菌性髄膜炎

細菌性髄膜炎は、細菌が脳や脊髄を包む髄膜に感染する病気です。早い段階で診断するのが難しく、かかると治療も困難で、ときには命にかかわったり、難聴や麻痺などの後遺症を残したりすることもある病気です。

細菌性髄膜炎は、免疫力が未発達な**小さなこども**がかかることが多く、5歳までのこどもで全体のほぼ半数を占めています。なかでも0歳児の割合は高く、こどものうちの約半数を占めています（図1）。

細菌性髄膜炎の原因となる細菌（起因菌）は、いくつか知られており、年齢によって主な起因菌は異なります。

感染症発生動向調査によると、こどもの起因菌は、約半数は不明ではあったものの、わかったもののなかでは、「インフルエンザ菌b型（ヒブ、Hib）」と「肺炎球菌」が多くみられています（図2）。

図1 細菌性髄膜炎の年齢分布(平成18年～21年)

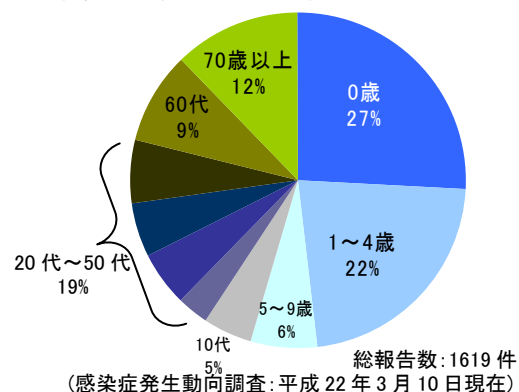
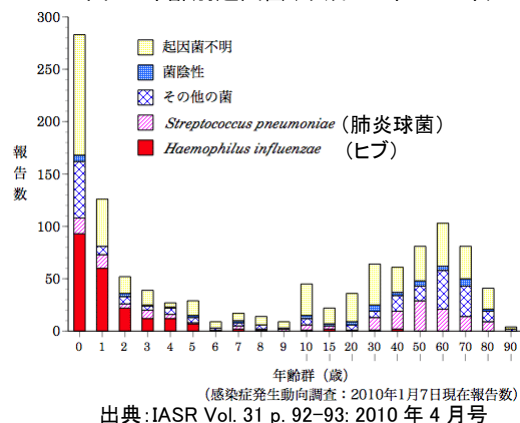


図2 年齢別起因菌(平成18年～20年)



肺炎球菌は93種類ありますが、こども用の肺炎球菌ワクチン（商品名：プレベナー13）は、そのうちの**13種類**に対応しています。この13種類の肺炎球菌がおこす、菌血症や細菌性髄膜炎などの重い感染症は、ワクチンで予防することができます。また、肺炎、中耳炎についても、ワクチンの予防効果がみられたという報告もあります。

こども用の肺炎球菌ワクチンは、世界の多くの国々で利用されており、日本では平成22年2月から接種が可能になりました。

## こども用の肺炎球菌ワクチンは、生後2か月から6ヶ月の間に接種開始することが望めます

こども用の肺炎球菌ワクチンは、生後2か月から5歳まで接種することができますが、細菌性髄膜炎は0歳児に多くみられることなどから、早い時期（生後2か月から6か月）から接種を開始することが望めます。接種をお考えの方は、主治医にご相談ください。

## 接種回数は接種を開始する時期によって異なります

標準の接種開始時期（生後2から6か月）を過ぎたお子さんでも接種は可能ですが、接種を開始する時期により、接種回数が異なります。

### こども用肺炎球菌ワクチン（商品名：プレベナー13）

生後2か月～6か月（4回） 7か月～11か月（3回） 1歳（2回） 2歳～5歳（1回）



## 医師が必要と認めたときは、他のワクチンとの同時接種も可能です

こども用の肺炎球菌ワクチンは、接種後6日以上あければ他のワクチンを接種することが可能です。

また、生ワクチン（BCG、麻しん・風疹、水痘、おたふく）を先に接種した場合には27日以上、不活化ワクチン（ポリオ（不活化）、ヒブ、ジフテリア・百日咳・破傷風混合、日本脳炎、インフルエンザなど）を接種した場合は6日以上あければ、接種が可能になります。

一方で、医師が必要と認めたときには、他のワクチンとの同時接種も可能です。ワクチン接種のスケジュールについては、主治医にご相談ください。



### 注）肺炎球菌に対するワクチンには2種類あります。

免疫力が未発達なこどもには、「結合型ワクチン（商品名：プレベナー13）」を接種し、免疫力が低下している高齢者などには「ポリサッカライドワクチン（商品名：ニューモバックスNP）」を接種します。どちらのワクチンも肺炎球菌への感染予防を目的としていますが、「ポリサッカライドワクチン（商品名：ニューモバックスNP）」を2歳未満のこどもに接種しても、十分な効果は得られません。

## 細菌性髄膜炎の予防には、ヒブワクチンの接種も有効です

こどもの細菌性髄膜炎は、肺炎球菌のほか、「インフルエンザ菌b型（ヒブ）」も原因として多くみられています（図2）。ヒブにもワクチン（商品名：アクトヒブ）があり、生後2か月から接種が可能です。接種をお考えの方は、主治医にご相談ください。

## 小児用肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンが無料で受けられます

■ 実施対象者 生後2か月～4歳

詳しくは横浜市保健所ホームページを御覧ください。

→ <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/hokenjo/genre/kansensyo/vaccination.html>



### 参考 WEB サイト

■ 肺炎球菌感染症について（横浜市衛生研究所）

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/disease/pneumococci1.html>

■ 肺炎球菌コンジュゲートワクチン（小児用）に関するファクトシート（厚生労働省）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r9852000000bx23.html>